

第5回 全国高等学校ダンス部選手権の様子

◎ 漢字2文字をテーマに 「驀地」(マッシュグラ) 会場からの拍手喝采をいただきました。



◎ 審査員や主催者からも温かいコメントをいただきました。

*下半身と軸...これは、日本のダンス番組の生みの親でもある審査員のテリー伊藤さんの指摘でもあるのだが「日本人は上半身ばかりで踊る」のだ。決勝に進出したチームは、自分たちに必要なユニゾンの精度やキレは持ち合わせていたが、根本的な下半身や体幹の安定感には差が出ていた。ダンスのグルーヴは下半身で支えるもの、ダンスは手先ではなく体の中心で踊らせるもの。そのためには、地道な基礎トレーニングをいかに突き詰めてやれるか、しかないのだ。ダンスを踊れる体作りができていれば、奇抜な振り付けやコンセプトや衣装がなくても、ベーシックなステップだけで充分に見せることができる。準優勝の三重高校がその好例と言えるだろう。

レポート：DANSTREET／ダンスク編集長：石原久佳

B-5) 三重高等学校

驀地 (マッシュグラ)

これぞ関西オールドスクールダンスの醍醐味と言える圧倒的なダンス力。王道の動きやステップと音取りの的確さだけでここまで見せ切ることができるという良いお手本。和との融合も素晴らしく、場内から大きな拍手喝采を浴びた。

